

場の主人ともいへるべき風采を興へて、次に、こなたには、議事堂の中央に、タリーラン公が椅子に倚り泰然と構へてゐる風を畫いて、畫中の名譽ある位置を興へて置たのであつた。

#### 苦心の作

元の始祖タメルランカンは甚だ短氣で峻酷であつた、自分の氣に入らない事があると誰れでも刑罰に處した。ある時畫家をよんで肖像を描かせたが、タメルランカンは眇であるので、其通りに畫いては氣に入らぬに極まつてゐる、刑罰も恐ろしい、そこでタメルランカンが弓を彎いて狙を擬してゐる圖を作つて差出た處、大に氣に入つて厚い賞があつたといふ。狙を定めるに、左の眼を閉るのは當時よりの習慣であつたので、これを應用して體裁よくゴマカしたのであつた。

### ボストンの冬 [上]

T. O. 生

アメリカの冬は、氣候としては最も悪しき時なれど、繪畫を見るには極めてよき時節に候。歐洲諸國は、初夏のころに多くの展覽會ある由なれど、此地にてはいつも冬期に限られ居候。毎年四月過には、富める人の多くは旅行致候故と承り候。

十二月末には、ドール・リチャード・アートギヤラリーにて、

JOHN LAFARGE 外川氏の近作展覽會有之候。 LAFAR-

GE 氏はニューヨークに住み、寺院のグラスモザイクに長し、現今アメリカ第一との評あり、此會にては水彩畫の小品二十點程ありしも、裝飾用の下圖めきて、繪として見るべくや、物足らぬ感もあれど、其着色は強烈にして、しかもよく調ひ、大家の作として感すべきものも少なからず候。風畫畫よりは人物を寫せしもの巧みに、中にもフイジー土人を寫せしもの最も注意を惹き申候。

ボストン・アートクラブに於て只今油繪の展覽會有之候、陳列せられしもの百二十四點、鑑別によつて排されしもの三百餘點の多きに達せし由なれども、なほ及第品にも好まじからぬ繪の多くを見受け申候。此會のコツプレーボール展覽會に比して佳作少なきは、彼はアメリカ西部の畫家を網羅し、これは單にボストン畫家を主とせるによる事と存候。アートクラブは、其資金の内より年々一千弗を支出して場中の傑作を買上候例なるが、本年は“MAY”と題する MONBRAY 氏の繪に六百弗、“BACK OF THE OLDBARN”と題する RICHARD-SON 氏の作に四百弗を支出致候、勿論、これは公示されたる賣價にては無之、多少の割引ありし結果と聞及び候、場中に於て此二點は、私共の目にも傑出せしものと存ぜし分に御座候。一月九日より十二日間、全じくドール・リチャード・アートギヤラリーに ARTHUR. M. HAZRD 氏の單 フライベイト、エキスピション 獨 展 覽 會 有之候、風景及び肖像畫合せて二十四點、格別感服すべきものを見出し不申候。(外遊日記の、つちよこ)